

とだ動物病院の診療等の方針について

当院で各種の迷惑行為が多発しており、業務に支障をきたしています。誠に不本意ではありますが、次のような対策を取らせていただくこととなりました。円滑な運営のため、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

【ご来院の際のお願い】

○ご来院時には飼い主様はマスクや消毒等の感染対策をしてください。動物のキャリー（ケースやバックなど）やウエアなどはお預かりできませんので、各自で保管をお願いします。

○猫・小型犬・小動物はキャリーなどに入れてください。飛び出たり顔などが出たりしないようにしっかり閉めてください。中型犬・大型犬の場合はリードを短く持って、他の患者様から離してください。病院内では、動物を離したり、リードを長くしたりしないで、しっかりと確保してください。

【診察等の際のお願い】

○当院は歯科・口腔外科専門です。かかりつけ医が行うような一般診療の対応やサービス行為はできかねます。かかりつけ医とご相談ください。

●歯科の診察の際に、動物の口の中がみられない場合には、診察をお受けできません。

●動物の状況がわかる方がお連れください。代理の方の場合には、状況がわからないことや十分なお理解が得られずトラブルの元となります。処置等のご説明の際には、処置について決定できる飼い主様ご本人が説明を受けていただき、同意書をご記入ください。

●診察室などでは、動物は飼い主様などの慣れた方でないと扱えないことが多く、スタッフが触ることで怖がりたり逃走したりしますので、動物を扱える飼い主様ご自身で診察台に載せていただき、しっかりと保定してください。

【診察等について】

●処置の内容、処置ができるか、費用のお見積もりなどについては、実際に診察や麻酔して処置をしてみないとわからないことが多く、診察前やお電話等でのお問い合わせには対応できません。

●歯科の診断と処置は、ほとんど麻酔をしてからになります。診察のみでは、わからないことが多く、麻酔後に追加・変更することがあります。追加の処置が必要な際には、追加の費用がかかることがあります。

○動物は生き物なので、突然に体調が崩れることがあり、予想ができないことが起こり得ます。麻酔や薬に体質的に合わない場合などがあり、最悪の場合、死に至ることがあります。麻酔をしての処置などの際には、別紙の「麻酔と検査・処置・手術について」を必ずご覧ください。

○診察を受ける際には、本書面の内容をご理解いただいたと判断いたします。それに反した行為があった場合には即時退去をお願いします。

【処置について】

当院の判断で診療等を行えないと判断した場合には、診察等をお引き受けできない場合があります。その際にもそれまでにかかった費用はお支払いいただきます。

